

第6回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録

会議名	第6回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会
開催日時	令和5年7月6日(木) 午後2時から午後3時45分まで
開催場所	板橋区役所南館4階 災害対策本部室
出席者	<p>[委員]9人(敬称略) 長澤重隆(部会長)、松村良子、田口晋、沼和子、小池睦美、矢野由加、平野江里子、前田康夫、林栄喜</p> <p>[オブザーバー] いたばし総合ボランティアセンター所長</p> <p>[事務局] 地域振興課長、地域振興課地域振興係職員</p>
会議の公開(傍聴)	非公開、ただし要点記録は作成
傍聴者数	なし
議題	<p>1 開会</p> <p>2 議題 (1) 第5回専門部会の振り返り (2) 今回の検討事項について (3) ビジョン素案の作成について</p> <p>3 閉会</p>
配付資料	<p>資料⑥-1 第6回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録(案)</p> <p>資料⑥-2 第6回ボランティア活動推進協議会専門部会 検討事項</p> <p>資料⑥-3 「(仮称)いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン2030」(素案)</p>
部会長	<p>1 開会</p> <p>皆さん、こんにちは。突然の真夏日になってしまいまして、本当にお暑い中ありがとうございます。それでは第6回の専門部会を始めさせていただきますと思います。最初に事務局の方からご説明の方よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>はい。最初に定例的なことなんですけど、本日の会議でも、会議録を作成する関係上、録音させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。本日の参加でございますが、9名中9名の委員が参加されており、過半数を満たしておりますので、本協議会正式に成立しております。それでは議事進行、長澤部会長よろしく願いいたします。</p>
部会長	<p>はい。ありがとうございます。今机上にお配りしている資料は今ご説明あると思いますけども、一昨日、皆さんに事前に配布された資料からも、さらに様々な工夫が加味されておりまして、皆さんにお手元にあるものとはまたちょっと変更が変わっておりますことをご了解ください。そういうこともお含みおきいただきながら、事務局のほうから資料の確認よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>まず、お手元に配付しました資料でございますが、資料の⑥-1、こちらが専門部会</p>

	<p>の要点記録。資料⑥-2、こちらが専門部会の検討事項でございます。最後資料⑥-3、こちらが運営ビジョン2023の素案ということで、こちらが最新バージョンということで、机上配付をさせていただいております。足りない資料等はございませんでしょうか。ありがとうございます。そうしたらまた運営の方を長澤部会長の方にお戻しいたします。</p>
部会長	<p>早速この今日配られました、ビジョンの案のところからですね順を追って見ていきたいと思いますけれども、まず説明をよろしいでしょうか。</p>
	<p>2 議題 (1) 第5回専門部会の振り返り (2) 今回の検討事項について (3) ビジョン素案の作成について</p>
事務局	<p>【事務局より資料⑥-1、⑥-2、⑥-3について説明】</p>
部会長	<p>はい。ありがとうございます。今、大分丁寧に説明をしていただきました。それではこれをたたき台してもらって皆様のご意見を伺っていくんですけど、ざっと見た感じで、最初に、順番に一言ずつコメントいただいたらありがたいんですけども、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>【委員意見総括】 ・図・表・コラム・注釈等が入ったことにより分かりやすくコンパクトにまとめられている。</p>
部会長	<p>ありがとうございます。これからのボランティア活動の核になってくるそのビジョンの発信の仕方ですので、これが区民の皆さんに発信していく中で、こんな変遷があって、こんなイメージで展開して、また繋がりを深めていくんだなと感じてる次第ですけれども。ここからですけれども、こういうところまだ少し付加したほうがいいのかどうか、こんな展開はないのかなという、気づいたことがあればぜひ皆さんから、ぜひご指摘をいただきながら、またさらに深めていきたいなと思ってます。</p>
ボラセン所長	<p>はい。9ページのところ、プラットフォームの導入手法っていうところで表があります。私たち現在ボランティアセンターの中でこの業務を推進していく中で、この中の「イ、既存事業の整備」っていうところにあるんですが、ここの①相談機能・コーディネート強化っていうところなんですけど、実はここ、すごく悩むところでもありまして。福祉的に言うと、個人ニードって言ったり、個別支援って言ったりする項目があります。これをこのプラットフォームを導入した以降、どこまで介入して、職員がやっていかなければならないのかっていうところは、今後のプラットフォームを導入していく中で検討なのか、あとはここである程度示しておいたほうがいいのか、その辺、逆にちょっと皆さんから意見をお伺いしたいところです。</p>
部会長	<p>具体的に今もうすでに、日々の相談やいろいろなことを実際に、実体験なさっていらっしゃるから、それは今やってることをどういうふうに表示するかっていうことにもなるし、ここに盛り込むか盛り込まないかは別ですので、それも含めてですね、今のことに限って、何か今ビジョンにそういうことも背景としてあるんだよってことを前提としながらも、なおかつそういうところも踏み込んだ表現ができるかどうかということも考えながら、何か皆さん、ご意見ございますでしょうか。</p>
委員	<p>【委員意見抜粋】 ・企業だと障がい者雇用という、いろんな別の機関があって、結構手厚く相談でき</p>

	<p>たりとかする。やっぱり専門的な方の知恵っていうのはすごく大切だと思う。そういうところとうまく連携をしてプラットフォーム的なコーディネートに留めるほうがいいんじゃないかなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムにどこまでそれを含めながら、マッチング機能をどこまで広く機能として持たせられるかは、これから手探りの状態になると思う。 ・受け入れた側も、ボランティアセンターやプラットフォームとどんどん連携をとっていかなきゃいけないんだろうけど、そこまでするのが、何か難しいかと思う。
ボラセン所長	<p>ボランティアセンターとして、今既存のボランティアグループ・団体さんの枠を超えて、そういった困り事がある人、あとはそのボランティアしたい人を、受け入れてくれるかどうかっていうことも、非常に大事だと思うんですが。私たちはそういう狭間の方とか、そこに当てはまらない人をやっぱり、市民活動として団体さんの支援をしていかなければいけないというふうに思ってるので。個人のコーディネートを実際に積極的にするのか、どうなのかっていうのは、非常にこれからの業務量によっても大事なところなので、57万人に対して寄り添えないですから。逆にそこはやらないのか、悩みどころなんですけども。一つ例を挙げるとすると、市民活動センターって言われているようなところが、この板橋区外でも23区内にもあるんですが、そういったところで本当に情報提供ということで、こういった今作ってるプラットフォーム的な機能のみしかやってないの。そういった本当に寄り添うっていうのは、やってないところも多いです。ただ比較的、社会福祉協議会がやっているボランティアセンターは、そもそも福祉という理念があるので、どうしても寄り添って、付き添ってやっているというところがあるので。そのあたりをしっかりと何かこう区別できれば、我々もそちらの方向に向かって、ここの相談機能・コーディネートという部分は進めるのかなと思ってます。</p>
部会長	<p>ここでは個別的な案件には常に配慮しつつも、それはその都度検討しながら進んでいくしかないなっていうところだと思うんですけども。そういう意味ではちょっと同じ9ページの今後の方向性の中で、プラットフォームに対する期待運用効果のところにも7つの効果の例を明記させてますけども。運用ルールも含めて、これがだんだん浸透していきながら、だんだん切磋琢磨しながら、運用していけば、これからボランティアは広がりが増えてくるんだろうなと思うんです。行政サービスと、専門家サービスを徐々につなげながら、区切られた分野だけじゃない、複合的に関わっていくことが、これからも現実に出ている。そういう中で、切磋琢磨しながら考えていかなきゃなんないんだろうなと思います。ちょっとほかにも何かご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>【委員意見抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォームに期待する運用効果の③のルール、これが今後重要になってくると思う。 ・プラットフォームの構成員には当然行政も入ってくるので、各部局に対しても、プラットフォームができることで、情報なり、連携を強化していくということが出来ると思う。 ・区のほうでちょっと手に余るということであれば、他のボランティア団体でできないか、ボランティア団体が協働しながら対応できないかというようなこともプラットフォームの中で、相談・協働できるのではないか。 ・重点施策の書き方が、プラットフォームの導入だが、プラットフォームの構築の方がちょっとしっくりくるのではないか。 ・ビジョンの進捗管理のところで、ビジョンをボランティアセンターが確実に運用していくとか、ちゃんと理念としてやっていくかっていうところは、どこがコントロールや対応するのか。 ・このビジョンを踏まえて、例えば運営要綱のところできちんと、ビジョンを踏まえ

<p>部 会 長</p>	<p>てやっていくというようなことが、文言として示されたほうが良いのではないか。</p> <p>【質問】</p> <p>はい。ありがとうございます。このビジョンを推進するにあたって進捗管理の道筋としては、聞いておきたいなというのがあるので、事務局何かありますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>【回答】</p> <p>区側でよく行われるのは、計画を作ると所管が自ら評価表を出してきます。計画の進捗管理をして、その結果、進み具合がよければAとか、普通だったらBとか、ちょっと進んでないよなとなったらCをつけたり、そういったものを庁内に出して、広く審査をしていただく、このような体制が、区側、自らつくった計画では仕組みができて上がっているんですけども。このビジョンをどうやってチェックしていくのかは課題として捉えております。表の下のほうに中間評価測定とかビジョンの評価と次期ビジョン作成のための協議会設置が書かれています。こういった仕組みがちゃんと機能するように我々もお手伝いをしていきたいと思いますが、毎年進捗管理するのか、そのたびに、この専門部会のような、委員会を設置してやっていくのかどうか。皆様のご負担の割合と、だけどせっかく作ったビジョンがちゃんと進まないともったいないといったところのバランスについては今後、また皆様と協議を進めさせていただきたいなと思います。もう少し具体的に書きかえたほうが良いということであれば、ここにまだ余白、文言に二・三行追加できるスペースでございますので、そこは事務局として案を考えていければなと思います。以上です。</p>
<p>ボラセン 所 長</p>	<p>8ページの今後の方向性の、ボラセンの取組ってところで三つ項目があるんですけども。③災害ボランティアのサポートというよりかは、ボラセンの主要取組なので、災害ボランティアセンターの運営になると思うんですね。災害ボランティアのサポートっていうのであれば、災害ボランティアの養成という方が、主要取組になるかなというふうに思ったので、8月の本会議に上げる前にここは皆さんの合意が得られれば、修正したほうがいいかなというふうなふうに思いました。</p>
<p>委 員</p>	<p>【委員意見抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンターの運営について、5ページのこの最後の「対象としていません。」と書いているので、ここの書き方はちょっと変えたほうが良いと思う。 ・災ボラについては、ボラセンが実際にボランティアの育成をして、発災時に向けての学習をしているという意味では、育成とか養成という言い方でいいのではないか。 <p>【質問】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンは、将来像・基本理念・運営方針、三つあわせてビジョンなんですか。
<p>事 務 局</p>	<p>【質問への補足】</p> <p>事務局から補足をさせていただければ、言葉で補うのであれば、こちら第2章第1項のビジョンの体系と位置付けで、いきなり「将来像・基本理念・運営方針」の言葉が始まっていますけども。「ビジョンとなる、将来像・基本理念・運営方針を実現するために」と言えば、言葉では補うことができると思います。文章の中では、それを前提に、この図が作成されているというふうに見ていただければ、この問題を解決するんですが。それを図で、どうやったら勘違いしないようにするかについては、ちょっと検討させていただければなと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>【委員意見抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボラセンの取組少なくとも8ページと6ページは同じ表現してないと、違和感があるかなと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・5ページ、今のボラセンの課題の人材が不足しているところについては、どういうふうに解決していくっていうふうに認識を合わせたか確認したい。 ・3各主体との連携・協働とあるが、こういうところで、ボラセンが受ける主体となるのではなく、連携によって人材不足を補うのかなというふうに思った。 ・9ページのプラットフォームの運用効果の中に、人材不足解消についての文言を少し増やし、その中で何か少し補足して盛り込むといいのではないかな。 ・職員がやらなくていいように、団体のできることをもっと増やしていくとか、受け入れられるようにするとか、そういった部分の団体支援・人材育成というふうに感じている。 ・人材が不足しているというところの、この「人材」の主語が明確になると、解決策として、重点施策でどのようにこのプラットフォームの中で解消していくかが示しやすいと思った。 ・ボランティアセンターの事務局業務をサポートするボランティア団体を育成できたらいいいという意見があったかと思う。そういったものがプラットフォームのインキュベーション機能の中で、新たに生まれてくるような状況が生まれると解消できるのではないかな。
部 会 長	<p>それでは皆さん、細かいところまでご配慮いただきご意見をいただきましたので、そろそろお時間にしてもいいかなと思うんですけど。よろしいでしょうか。先ほど言いました通り、まだ意見があればとにかくメールでご意見お聞かせください。これからも引き続きよろしくお祈いします。特に8月の協議会では私からも、これは委員長に提出する資料ではあるんですけど。皆さんからもね、これの策定にあたって皆さんの感想も一言添えていただければなと願っておりますのでそういうことも、今度8月の協議会のほうでも皆さんの何かご感想などを一言ずついただきたいなと思いますので、どうぞよろしくお祈いいたします。</p>
事 務 局	<p>それでは事務局からの連絡事項となります。本日も長時間にわたる議論ありがとうございました。本日もいただいたご意見を、資料⑥-3ビジョンの素案の方に反映をさせていただければと思います。資料がまとまりましたら、皆様へ事前に送付させていただきます。申し訳ないんですが、再度ご確認をいただければと思っているところがございます。本日の素案に対する委員の皆様のご意見は、先ほどちょっと出ましたが、7月13日の木曜日まで受け付けさせていただきます。事務局までメール等でご連絡をいただければと思います。取りまとめに際しましてはですね。長澤部会長及び佐藤会長様の方に、ご一任をさせていただければと思います。その上で最終決定とさせていただきます。いつも確認をさせていただきますが、日程の確認でございます。次回最終、第7回の専門部会は11月7日の火曜日14時。本会の他第6回の協議会ですね。8月8日火曜日14時から、こちら場所が決まっております、区役所本庁舎南館4階、災害対策室のA Bとなりますのでこちらの対面の会議室ということになります。第7回の協議会、これが一番最後になりますが、12月19日火曜日14時からということで、こちら会場が決定次第、またご連絡をさせていただきたいと思ひます。事務局からは以上でございます。</p>
部 会 長	<p>はい。長時間本当にありがとうございました。以上で部会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
所 管 課	<p>区民文化部地域振興課 地域振興係 (電話 3579—2163)</p>